

BOOK MEETS NEXT出版社企画募集中	2
図書館総合展2025出展社 募集中	2
電子図書館アクセシビリティ 対応ガイドライン	2

## 再販売価格維持契約書 ヒナ型・一部改定

(一社)日本書籍出版協会、(一社)日本雑誌協会、(一社)日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会の出版4団体で構成する出版再販研究委員会(小野寺優委員長)では、2025年5月1日、『再販売価格維持契約書(取次—小売)』ヒナ型、ならびに、『再販売価格維持契約書(出版—小売)』ヒナ型の2つにつき、内容を一部改定した。改定前は、それぞれ第六条(2)において、「官公庁等の入札に応じて納入する場合」については、この契約の規定は適用しないとしていたが、今回一部改定により、「(2)官公庁等の入札に応じて納入する場合」の記述を削除した。

詳細およびヒナ型はこちらを参照

<https://www.jbpa.or.jp/publication/contract.html>

なお、『再販売価格維持契約書(出版—取次)』ヒナ型、『覚書(出版—取次)』ヒナ型については、今回変更はない。(問合せ 再販研究委員会事務局 TEL 03-6273-7061)

## 文化庁 翻訳助成事業を実施！

文化庁は、令和7年度「活字文化のグローバル展開推進事業」(運営：VIPO＝映像残業振興機構)を実施する。本事業は、日本の多様で豊かな活字文化を海外へ発信・普及させるため、海外発信の基盤となる翻訳家の発掘・育成を行うとともに、出版社等による作品の海外展開を促進し、世界の文学関係者、出版関係者等を対象に、日本の活字文化の理解をより深めるための活動を図る。

本事業の一環として、日本の書籍の海外へのライセンスアウトに向けた営業や交渉の際に必要な企画書の翻訳・作成とサンプルの翻訳に係る費用を助成する事業を募集している。翻訳助成に関する概要は以下の通り。

**助成の目的：**多様で豊かな日本の活字文化を海外に発信し普及させるため、日本の書籍を海外にライセンスアウトする際の営業や交渉において必要となる企画書の翻訳・作成とサンプルの翻訳に係る費用の助成を通して、日本の出版社等の海外展開を促進する。

**助成の対象：**日本の書籍を海外にライセンスアウトする際の営業や交渉に必要な以下の費用に対して、助成する。

①-1 企画書(シノプシス)の英語翻訳に係る費用

※日本語の企画書を英語に翻訳する場合に該当

①-2 英語企画書(シノプシス)の作成に係る費用

※最初から英語の企画書の作成自体を外注する場合に該当

② サンプルの英語翻訳に係る費用

※本助成金における企画書とは、翻訳出版の際に用いられるシノプシスと同義

**助成金の額：**(以下、税別・金額上限)

①-1 企画書(シノプシス)の英語翻訳：1作品あたり8万円

①-2 英語企画書(シノプシス)の作成：1作品あたり10万円

② サンプルの翻訳：1作品あたり50万円

**採択予定件数：**

①-1、2 企画書(シノプシス)の翻訳・作成：110作品程度

② サンプルの翻訳：24作品程度

※有識者による審査委員会により採否を決定

**【公募スケジュール】**

・公募期間：5月30日(金) 14:00

～6月20日(金) 23:59

・交付決定通知：7月上旬を予定

・翻訳完了日：採択後以下の期限までに翻訳等を完了

①-1、2 企画書の翻訳・作成：9月30日(火)

② サンプルの翻訳：2026年1月30日(金)

**助成事業詳細：**<https://www.vipo.or.jp/project/jppp/honyaku/>

(問合せ 同事務局 ✉jppp\_vipo@vipo.or.jp

※件名に「問い合わせ：活字文化助成事業」と明記)

## BOOK MEETS NEXT2025 出版社企画募集中

BOOK MEETS NEXT2025（同運営委員会事務局＝JPIC・一般財団法人出版文化産業振興財団）は、年間を通じて様々な企画、プロジェクトをおこなっているが、メイン企画が秋の読書推進月間にあわせて10月25日（土）～11月23日（日）に開催される。今年度もプロデューサー制度の継続や地域連携イベントの拡大などを通じて、より多くの方が書店での本との出会いを増やすことを目指している。

出版社からの企画も現在募集している。

### ● 出版社特別企画募集（6月30日締切）

申込先：<https://c1c.jp/7406/D2yfFU/55>

また、4月30日に行われた説明会のアーカイブ配信も公開されている。見逃した方は下記URLより視聴可能。

詳細：<https://www.jpic.or.jp/topics/2025/04/30/183655.html>

（問合せ JPIC TEL 03-5211-7282）

## 図書館総合展2025 出展社 募集中



今年の図書館総合展（主催：図書館総合展運営委員会）は、10月22日～24日の本展（パシフィコ横浜）に加え、1期と2期にわけたオンライン（6/21～7/4、11/10～11/23）の2本立てで開催される。

本展である展示会場開催では、現物をみせたり対面の情報交換・交流を、オンライン開催では、遠方の方やワンパーソンライブラリーや学校図書館の方々等とのネットワークの環をさらに広げてもらうことを企画のねらいとし、来場者層は、公共図書館、大学図書館職員や、図書館計画を進める自治体・大学等の担当部局などが想定されている。

### 【会期】

・本展（会場）：10月22日（水）～24日（金）

・オンライン（web）：

1期：6月21日（土）～7月4日（金）

2期：11月10日（月）～23日（日）

【会場】パシフィコ横浜アネックスホールほか

【出展種目】

プランは、「一般（企業・公的機関）向け」「アカデミック（非営利の小組織・個人）向け」「出版社向け」にわかれており、主な種目は下記の通り。

・出展（会場ブース+オンライン）

・オンラインのみ出展

・ポスターセッション（会場+オンライン）（オンラインのみ）

また今年も、運営委員会の主催するフォーラムや企画などを協賛する「企画協賛プラン」が登場した。料金は一口50,000円から（企画によって異なる）。

現在、説明会のアーカイブ動画と資料を公開しているほか、個別の相談にも対応。

### 【申込み】

会場利用を伴う出展申込締切：7月4日（金）

オンラインのみの出展申込み：随時受付

出展申込み方法・出展に関する詳細：<https://www.libraryfair.jp/node/7688>

（詳細問合せ 同事務局 TEL:03-6627-2411）

## 「電子図書館のアクセシビリティ 対応ガイドライン2.0」を公開

2025年5月12日、国立国会図書館は、「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン2.0」を公開した。

「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」（事務局：国立国会図書館）は、読書に困難を抱える人の多様なニーズに対応するため、「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン」を更新した。この更新では、従来中心としていた音声読み上げに関するアクセシビリティ要件に加え、発達障害等（発達性ディスレクシアを含む）により、読書に困難を抱える電子図書館利用者からのニーズが高い、フォントの変更、色反転、字間・行間の調整、縦書き・横書きの切替えについての要件を追加した。本ガイドラインは、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」が求める施策として作成されたものである。

「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン2.0」の全文は、以下サイトを参照。

<https://www.ndl.go.jp/jp/support/guideline.html>

（問合せ 総務部総務課広報係 TEL 03-3506-5103）

## 出版統計

書籍	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書籍出回り	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比		
新刊点数	5,404点	▲ 12.5	21,185点	▲ 4.9	推定出回数	5,200万冊	▲ 6.1	24,548万冊	▲ 7.2		
新刊推定発行部数	1,967万冊	▲ 6.7	7,613万冊	▲ 8.5	推定出回金額	697億円	▲ 3.5	3,311億円	▲ 3.6		
新刊平均価格	1,362円	0.7	1,365円	2.9	推定出回平均価格	1,340円	2.8	1,349円	3.8		
新刊推定発行金額	268億円	▲ 6.0	1,039億円	▲ 5.9	<b>実売部数</b>	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比		
<b>月刊誌</b>	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書	籍	3,593万冊	▲ 4.3	16,982万冊	▲ 6.0	
発行銘柄数	1,607点	▲ 3.5	2,107点	▲ 3.6	月	刊	誌	3,581万冊	▲ 19.6	13,539万冊	▲ 13.8
推定発行部数	6,441万冊	▲ 14.2	24,035万冊	▲ 10.9	週	刊	誌	647万冊	▲ 45.9	3,746万冊	▲ 26.1
平均価格	784円	5.7	798円	4.9	<b>実売金額</b>	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比		
推定発行金額	505億円	▲ 9.3	1,917億円	▲ 6.5	書	籍	498億円	▲ 1.8	2,368億円	▲ 2.5	
<b>週刊誌</b>	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	月	刊	誌	272億円	▲ 16.9	1,067億円	▲ 10.2
発行銘柄数	66点	▲ 5.7	71点	▲ 1.4	週	刊	誌	27億円	▲ 47.8	166億円	▲ 24.2
推定発行部数	2,016万冊	▲ 15.4	8,387万冊	▲ 11.7	<b>実売金額合計</b>	797億円	▲ 10.1	3,600億円	▲ 6.1		
平均価格	466円	5.9	460円	4.3							
推定発行金額	94億円	▲ 10.4	386億円	▲ 7.8							

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (Tel.03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

### ■板橋区立美術館「2025イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」

期間：6月27日(金)～8月11日(月・祝)

場所：板橋区立美術館

内容：イタリア・ポローニャで行われる児童書のためのイラストレーション・コンクール「ポローニャ国際絵本原画展」の2025年の入選作品、日本の6名を含む29の国と地域の77名(76組)の全入選作品を展示する

詳細：<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/4000016/4001926/4001928.html>

### ■「男女共同参画週間」

期間：6月23日(月)～29日(日)

内容：男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指して、各都道府県にて様々な行事を行う

詳細：<https://www.gender.go.jp/public/week/index.html>

問合せ：内閣府男女共同参画局総務課広報啓発担当  
(Tel. 03-5253-2111)

### 編集後記

活字文化議員連盟による神保町ナイトウォークが先日行われ、上川陽子衆議院議員などが参加されました。出版文化の神保町の魅力をアピールできたのではないのでしょうか。今年のBOOK MEETS NEXTもメインイベントを秋に神保町で開催される予定です。出版社の企画も募集しているようですので、ぜひみんなで出版文化の街、神保町を盛り上げていけたら嬉しいです。(あ)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL：03-6273-7061

FAX:03-6811-0959

**Web サイトもご覧ください**

<https://www.jbpa.or.jp>